

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	観光振興課	職	課長	氏名	新谷 和幸
評価者	組織	観光振興課	職	課長	氏名	良澤 和俊

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	観光入り込み客数	千人	25,000 (H27)	21,055 (H24)	21,632 (H25)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題						課題に対する主な取り組み				評価			
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
					(年度)	(年度)							
施策1	課題1 新ほっと石川観光プランの推進 (3大都市圏誘客1000万人構想の推進)	1: 3大都市圏からの入り込み客数	千人	10,000 (H27)	6,832 (H24)	7,017 (H25)	1: 石川県観光創造会議開催費	観光客全般	1,500	1,500	B	継続	
							2: 国内誘客戦略強化費	観光客全般	2,000	2,000	B	継続	
							3: 石川香川観光パートナーシップ協定推進事業費	観光客全般	3,000	3,000	B	継続	
							2: 隣県からの入り込み客数	千人	3,150 (H27)	2,576 (H24)	2,808 (H25)	1: いしかわ観光特使ネットワーク推進事業費	観光客全般
2: ふれあいと体験事業費	観光客全般	8,000	7,284	B	継続								
施策1	課題1	体験交流観光の推進	千人	3,150 (H27)	2,576 (H24)	2,808 (H25)	再掲: ふれあいと体験事業費	観光客全般	8,000	7,284	B	継続	
	課題2	観光地や温泉地の魅力アップと活性化	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H27)	39,415 (H24)	39,564 (H25)	1: 観光地活性化推進事業費	市町等	24,320	24,320	B	継続
								2: いしかわナイトツアー首都圏誘客事業費	観光客全般	4,000	4,000	B	縮小
								3: いしかわスイーツ博開催事業費	観光客全般	15,000	15,000	B	継続
								4: 温泉地魅力アップ推進事業費	市町等	50,000	41,023	B	継続
								5: 観光案内サイン整備事業費	観光客全般	100,000	91,500	B	継続
	課題3	イベント、コンベンションの振興	コンベンション開催・参加者数	件・人	400・96,800 (H27)	393・93,112 (H24)	401・88,834 (H25)	1: 戦略的コンベンション誘致推進事業費補助金	コンベンション主催者	5,000	5,000	A	継続
								2: 金沢城・兼六園四季物語開催事業	観光客全般	8,729	10,662	A	継続
	課題4	おもてなしの充実	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H27)	39,415 (H24)	39,564 (H25)	再掲: 観光地活性化推進事業費	市町等	24,320	24,320	B	継続
	課題5	人材の育成	ボランティアガイド団体・参加者数	団体・人	30・800 (H27)	27・882 (H24)	23・991 (H25)	ウェルカムいしかわ推進事業	観光事業者、一般県民	6,300	4,300	B	継続
課題6	効果的な情報発信	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H27)	39,415 (H24)	39,564 (H25)	1: ほっと石川観光キャンペーン事業費	3大都市圏等観光客、旅行業	53,390	53,390	B	継続	
							2: 旬のいしかわネット配信事業費	観光客全般	6,000	6,000	A	見直し	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	石川県観光創造会議開催費	事業開始年度	H17	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作組	織	観光振興課
成職	氏名	専門員 土田 ちえ子
者電	話番	076 - 225 - 1127 内線 3919

事業の背景・目的

観光施策の指針となる「新ほっと石川観光プラン」の推進にあたって、高い見識をお持ちの各界各層の方々から新しい時代の観光振興政策に対する大所高所からのご提案をいただく「石川県観光創造会議」を開催し、その提案を活かした新しい時代にふさわしい観光振興策を展開する。

事業の概要

I 石川県観光創造会議

1. 会議の構成

(1) 委員数 20人

(2) 構成 各分野の第一人者（交通、国際、観光、芸術・文化、食、海外誘客など）

(3) その他 委員のほか、特別顧問(石川県観光大使)として、仲代達矢氏など14名が就任

2. 役割

(1) 北陸新幹線開通を見据えて、新しい観光のあり方等への提案

- ・国内外からの入り込み客数の目標達成に向けた誘客方策
- ・石川の魅力、個性、印象など観光石川のブランド創出に向けた方策

(2) 本県の観光応援団としてのPR的機能を発揮

II 観光総合プロデューサーの設置

1. 目的 観光プランを総合的に推進するため、全体にわたって企画等の指導、助言をするプロデューサーを配置し、プラン推進の原動力の役割を担うこととする。

2. 観光総合プロデューサー 早川 和良 氏 (CMプロデューサー)

これまでの見直し状況

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
指標	3大都市圏からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
10,000	6,999	7,268	6,969	6,832	7,017		
指標	隣県からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
3,150	2,583	2,605	2,607	2,576	2,808		

事業費						
(単位:千円)		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	2,000	1,750	1,500	1,500	1,500
	決算	2,000	1,750	1,500	1,500	1,500
一般	予算	2,000	1,750	1,500	1,500	1,500
	決算	2,000	1,750	1,500	1,500	1,500
事業費累計		9,095	10,845	12,345	13,845	15,345

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	これまでの会議における意見提出をもとに、スイーツを活かした観光誘客事業やおもてなしの推進をはじめとした受入環境整備などについて事業化が図られている。本県への入り込み客数も昨年に比べ増加しており、一定の成果が見られた。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	今後とも観光施策の指針となる「新ほっと石川観光プラン」を実効性のあるものとするため、高い見識を持つ各界各層の方々から常に新しい時代の観光振興策に対する提案を頂き、それを活かした観光振興策を展開していく必要がある。なお、委員との個別ヒアリングを実施するなど、より効果的な実施方法について探っていきたい。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	国内誘客戦略強化費	事業開始年度	H25	事業終了予定年度		作 組 織	観光振興課
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			成 職・氏名	専門員 小林 満美子
						者 電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3922

1 目 的

新ほっと石川観光プランに掲げる、「首都圏誘客500万人構想」、「三大都市圏1000万人構想」の実現を図るため、旅行商品造成や、MICEや修学旅行の誘致など、それぞれの分野により戦略的な事業展開を強化していく必要がある。このため、それぞれの分野において人脈や経験が豊富で情報に精通している方をアドバイザーに委嘱し、具体的な助言をいただきながら戦略的な国内誘客を展開していく。

2 事業内容

国内誘客について、それぞれの分野に精通した方々を「国内誘客戦略アドバイザー」として委嘱

(1)委嘱数 8名

(2)分 野 ①誘客戦略(旅行商品づくり)

アドバイザー例:交通事業関係者
旅行会社関係者 など

活 用 例:顧客ニーズの聞き取り

→ニーズに対応した旅行素材に磨き上げ、旅行会社に売り込み

②MICE・修学旅行の誘致

<MICE>

アドバイザー例:国際会議の専門業者 など

活 用 例:MICE主催者が求める要望を聞き取り
→具体的な企画提案に反映

<修学旅行>

アドバイザー例:修学旅行の業界団体 など

活 用 例:学校誘致に効果的な情報を聞き取り
→具体的な企画提案に反映
学校長を対象とした修学旅行の研究集会の情報
→研究集会に参加しPR

施策・課題の状況

施策	三大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	評価	B		
課題	新ほっと石川観光プランの推進				
指標	三大都市圏からの入り込み客数	単位	千人		
目標値	現状値				
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
10,000	6,999	7,268	6,969	6,832	7,017

事業費

(単位:千円)		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算					2,000
	決算					2,000
一般 財源	予算					2,000
	決算					2,000
事業費累計						2,000

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性	B	MICEや教育旅行の誘致に精通しているアドバイザーの助言により、効果的な情報収集が可能となったことで、戦略的なセールス活動が実施でき、三大都市圏からの入り込み実数の増加に貢献したと考えられる。
今後の方向性	継続	平成27年の北陸新幹線の金沢開業を見据え、引き続きアドバイザーからの助言を活かしながら更なる誘致活動を展開していく。

これまでの見直し状況

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 石川香川観光パートナーシップ協定推進事業費	事業開始年度: H24	事業終了予定年度:	STEP21	作 組 織: 観光振興課
	根拠法令・計画等	成 職・氏名: 主事 釣谷 俊介		者 電話番号: 076 - 225 - 1539 内線 3921

事業の背景・目的

三大都市圏誘客1000万人構想を実現するために、全国では初めてとなる香川県との観光パートナーシップ協定に基づく合同観光PRイベントを関西圏に引き続き首都圏並びに中京圏で行い誘客を図ることが極めて重要である。
 このため、首都圏及び中京圏からの時間距離が同程度であり、互いに共通する観光資源をもつ香川県とその観光資源を対比させて行う新たな手法を用いた観光PRを、重要な施策として位置づけ、来年度も継続して実施することで、本県の観光資源の魅力を最大限に引き出し、観光情報発信を強化することで三大都市圏1000万人構想の達成を目指す。

事業の概要

首都圏での合同観光キャンペーン

イオンなど大型商業施設や人が多く集まる観光イベント等を活用した観光PRを実施するとともに県産食材を使った食の販売や物産品の展示・販売等を行う。

(1) 観光PR

- 特設ステージ
金沢芸妓の舞、輪島和太鼓「虎之助」、ミス加賀友禅、ひやくまんさん 等
- ブース・体験展示
金箔箸作り体験、伝統的工芸品の展示、新幹線開業PRコーナー 等

(2) 県産品PR・販売

農林水産物・特産品の販売、近江町市場海鮮鍋、呈茶コーナー

県負担金 3,000千円

施策・課題の状況

施策	三大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	評価	B		
課題	新ほっと石川観光プランの推進				
指標	三大都市圏からの入り込み客数	単位	千人		
目標値	現状値				
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
10,000	6,999	7,268	6,969	6,832	7,017

事業費

(単位:千円)		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算				4,800	3,000
	決算				4,800	3,000
財源	予算				4,800	3,000
	決算				4,800	3,000
事業費累計					4,800	7,800

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性	B	イオンとの包括連携協定も活用した国内最大級のショッピングモールであるイオンレイクタウン(埼玉県越谷市)における香川県と合同の観光PRイベントにより、首都圏における効果的な情報発信が実施でき、三大都市圏からの入り込み客数の増加に貢献したと考えられる。
今後の方向性	継続	三大都市圏1,000万人構想を実現するため、引き続き全国初となる観光パートナーシップ協定に基づき、両県に共通する観光資源を活用し、三大都市圏からの誘客促進に取り組む。

これまでの見直し状況

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわ観光特使ネットワーク推進事業費	事業開始年度	H19	事業終了予定年度		作 組 織 観光振興課 成 職・氏名 主任主事 嘉門 佳顕 者 電話番号 076 - 225 - 1127 内線 3919
	根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			

◎事業の背景・目的

北陸新幹線の金沢開業を見据え、首都圏をはじめ全国に向け石川の魅力や観光情報を発信するため、ロコミによりPRいただける方を、平成22年度から「いしかわ観光特使」として委嘱している。
 本事業では、特使の情報発信や誘客活動をサポートするとともに、特使同士及び石川県ゆかりの方々との交流促進により活動の活性化を促し、県外における情報発信の強化と本県への誘客につなげる。加えて首都圏の本県ゆかりの方々の協力を得ながら、広く対外的にもPRする気運を醸成していく。

◎事業の概要

委嘱期間満了に伴う新規募集を行うとともに、特使の資質を維持向上するため、特使活動のサポートを継続する。

(1) 交流会、委嘱状交付式の開催

特使による活動報告により特使の活動の活性化を促すとともに、石川県ゆかりの方々との交流を深める場を提供

- ・開催場所 4か所(首都圏、関西、中京、県内)
 - (新) 首都圏の「首都圏いしかわ交流会」を、県人会等と協力し、一般の方も対象のイベントへ
 - ※関西・中京・県内は次年度の委嘱状交付式と合わせて開催。
- ・開催形態 県政報告、活動報告、交流会
 - ※首都圏、関西は、特使及び県人会等石川県ゆかりの方々を対象。

(2) 研修旅行の実施

実際に訪れて体験したことなどをPRに活用いただくため、新たにオープンした県内施設や話題の地等の見学ツアーを実施

- (新) テーマ別研修 これまでの地区別から金沢、加賀、能登、白山を含むテーマ別へ(年2回)
- ・開催形態 金沢駅(県庁)発着の日帰りツアー(定員40名程度)

(3) PRツールの作成等

- (新) 特使名刺 …… デザインを一新して全員に配布(200枚/1人)
 - ※コンペ等で民間のアイデアを取り入れ、特使活動にふさわしいデザインを選定
- ・委嘱カード …… 新規特使+継続特使分(委嘱期間H28.3まで)
 - ※特使活動に協力している観光施設の入館無料
- ・PRグッズ …… 絵葉書、あぶらとり紙、うちわ等を検討
- ・委嘱カード …… 継続特使分(H24.4～)

(4) 観光情報等提供

- (新) 「いしかわ観光特使事務局通信」のメール配信 …… 定期的送付(月2回程度)
- ・パンフレット等送付 …… 定期的送付(年4回)、特使からの送付依頼に応じた送付(随時)
- ・ホームページ …… 特使の活動報告、協力施設のイベント情報など特使のための情報発信

施策・課題の状況

施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
指標	3大都市圏からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
10,000	6,999	7,268	6,969	6,832	7,017		
指標	隣県からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
3,150	2,583	2,605	2,607	2,576	2,808		

事業費

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	(単位:千円) 予算	2,000	7,000	5,500	5,500	9,100
	決算	2,000	7,000	5,500	5,500	9,100
一般	予算	2,000	7,000	5,500	5,500	9,100
財源	決算	2,000	7,000	5,500	5,500	9,100
事業費累計		6,000	13,000	18,500	24,000	33,100

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	観光特使には、それぞれの生活やお仕事など日常の活動の場で、本県の観光についてのPR活動を行って頂いており、H22～H25年度で約15,500名の誘客につながるなど、着実に成果が上がっている。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	観光特使の意欲と知識の向上のため、研修旅行やセミナーの開催などにより、さらなるスキルアップを図っていただくとともに、観光情報を定期的に提供し、観光特使の活動をサポートするほか、県人会等ともさらに連携した「いしかわ百万石の集い」の開催や、特使への新たなPRツールの配布を行うなど(ひやくまんさんを使ったオリジナル一筆箋)、誘客への情報発信を推進する。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ふれあいと体験の旅事業費	事業開始年度	H19	事業終了予定年度	
	根拠法令	新ほっと石川観光プラン		
	計画等			

作組	織	観光振興課			
成職	氏名	専門員 村濱 美千代			
者電	話番号	076 - 225 - 1542 内線 3925			

1 目的
 これまで取り組んできた「石川型ニューツーリズム」について、その最大の魅力である「人とのふれあい」に焦点をあてた情報発信を行い、本県への旅行意欲を喚起するとともに、実際に体験プログラムを通じてガイドや地元の人とのつながりを深めてもらうことで、旅行後の継続的な交流の促進を図る。

※「石川型ニューツーリズム」とは…
 世界農業遺産の能登の里山里海を活用した「グリーン・ツーリズム」や「エコツーリズム」、いしかわモノづくり産業遺産を活用した「産業観光」、豊富な温泉や地域の食材を活用した「ヘルスツーリズム」、重要伝統的建造物群保存地区を活用した「アーキテクチャツーリズム」など、多様な地域ブランドを活用した本県ならではのニューツーリズム。

2 現状と課題
【現状】
 平成24年度をもって、個別のニューツーリズムの掘り起し・磨き上げの初期段階を越え、ひとまず全体として情報発信ができる体制が整った。

【課題】

- ・利用者の拡大を図るには、ターゲットの明確化やアピールの視点を工夫するなど、戦略的な情報発信を行うことが必要。
- ・石川型ニューツーリズムは、まだまだ発展の余地があり、新たな掘り起し等が必要。
- ・「全国産業観光フォーラムinこまつ」の開催(H25.11)を一過性に終わらせることなく、これを機に、産業観光推進の一層の推進が必要。

3 取組内容

(1)利用者の拡大に向けた戦略的な情報発信
 インターネットやリーフレットによる情報発信
 ・大都市圏に在住の本県ゆかりの人及びその家族、友人などに重点的にアプローチ
 ⇒家族旅行などでふるさと石川の「本物」を体感し、本県の魅力を語り継いで頂くとともに、口コミにより友人などにもアピールして頂く。
 おもてなしに通じる「人とのふれあい」にクローズアップした内容で発信

(2)体験プログラムの更なる掘り起しと磨き上げ
 ・農家民宿開業講座の開催、市町との連携によるプログラムのブラッシュアップ など

(3)「全国産業観光フォーラムinこまつ」への支援
 ・フォーラム開催負担金の拠出、誘客先進地との交流 など

⇒これまでの「プログラム内容」のみのアピールから脱却する

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B
課題	新ほっと石川観光プランの推進					
指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
平成26年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
10,000	6,999	7,268	6,969	6,832	7,017	
指標	隣県からの入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
平成26年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
3,150	2,583	2,605	2,607	2,576	2,808	

事業費					
(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費 予算	4,100	4,960	5,500	6,000	8,000
事業費 決算	4,100	3,763	4,633	5,252	7,284
一般 予算	900	1,900	2,900	3,400	5,400
財源 決算	900	1,900	2,900	3,400	5,400
事業費累計	4,100	7,863	12,496	17,748	25,032

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B 左記の評価の理由 これまでのコアなターゲットのみに行ってきた情報発信を「人とのふれあい」に焦点をあて、様々なツーリズムをまとめて発信することで、これまでよりも広いターゲットに情報発信ができ、利用者の拡大を図ることができる。農家民宿開業講座開催の効果により、25年度、新規で農家民宿を開業した者が21軒あった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続 作成したリーフレットを活用して、情報発信等を行い、本県への旅行意欲の喚起及び旅行後の継続的な交流の促進を図っていく。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	観光地活性化推進事業	事業開始年度	H20	事業終了予定年度		作 組 織	観光振興課
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			成 職・氏名	主事 山田 悟司
						者 電話番号	076 - 225 - 1538 内線 3928

(事業の背景・目的)
温泉地に代表される主要観光地等の活性化を図るため、県の「新ほっと石川観光プラン」を踏まえ、各観光協会、広域観光協会等が実施するハード・ソフト事業に対し、支援を行う。

(事業の概要)
観光地ブランド化推進支援事業 県負担額24,320千円

1 観光地ブランド化推進事業(ソフト事業)

(1) 対象事業

- 観光地の活性化を図るため、市町が策定した観光振興計画に基づき新たな観光資源の掘り起こしや地域の個性を活かした観光地づくりなどのブランド化を図るソフト事業に対する支援
事業例：観光資源のブランド化、個性あるイベントの実施など
- 外国人観光客の受入整備に係るソフト事業に対する支援
事業例：外国人観光客に対応したパンフレットの作成、総合案内サインの整備、人材育成など

(2) 交付先：市町

(3) 経費負担：県 1/3(上限4,000千円/温泉地等)、市町1/3、実施主体(観光協会等)1/3

2 観光地広域連携推進事業

(1) 対象事業

- 広域的に観光地の魅力を高めるための受入整備や集客力・利便性の向上を図るソフト事業に対する支援

(2) 交付先：広域観光協会

(3) 経費負担：県 1/3(上限5,000千円/協会)、実施主体(広域観光協会) 2/3

3 観光地活性化整備事業(ハード事業) 平成25年度は要求なし

(1) 対象事業

- 各市町が策定した計画に基づき、観光客の利便性向上や観光地の魅力をアップするためのハード事業に対する支援
事業例：案内看板の整備、駐車場の整備など

(2) 交付先：各市町(総湯等温泉施設の事業主体が総湯管理団体の場合は、総湯管理団体)

(3) 補助率、補助限度額

- ①補助率：事業費×(1-地元負担1/10)×1/4以内
- ②補助限度額：10,000千円(事業費10,000千円以下の事業は、補助対象外とする。)

(これまでの見直し状況)

H17：「個性豊かな温泉地まちづくり推進事業費補助金」、「温泉地街並み等修景整備促進事業費補助金」、「快適観光空間整備促進事業費補助金」を廃止。「観光地等再生計画策定支援事業費補助金」を統合
「観光地魅力創出整備事業」、「観光地魅力創出推進事業」、「ユニバーサルデザイン推進事業」創設

H19：「観光地魅力創出整備事業」、「観光地魅力創出推進事業」、「ユニバーサルデザイン推進事業」廃止

H24：事務費削減1,800千円

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化					
	指標	観光地の入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	54,886	39,823	41,033	40,003	39,415	39,564
事業費						
	(単位：千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	28,800	26,120	26,120	24,320	24,320
	決算	25,874	26,120	26,120	24,320	24,320
一般	予算	28,800	26,120	26,120	24,320	24,320
	決算	25,874	26,120	26,120	24,320	24,320
財源	決算	25,874	26,120	26,120	24,320	24,320
事業費累計		51,050	77,170	103,290	127,610	151,930
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性	B	温泉地の新たな魅力付けに寄与したほか、地元でも関連イベントが開催されるなど、本事業を通じて魅力的で個性ある観光地の形成に向けた取り組みが進められたことにより観光地への入り込みが維持されるなど一定の効果が得られた。				
今後の方向性	継続	本県観光の継続的な発展のためには、観光地や温泉地へのリピーター客の定着が重要であることから、観光地を常日頃から磨き上げていくことはもとより、新たな魅力の創出を図り、何度訪れても飽きない新鮮な観光地を形成していくことが重要である。このため、地域の特性を活かした魅力ある観光地となるため、地元自治体、観光関係団体、地域、観光業界などが引き続き一体となり、取り組んでいく。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわナイトツアー首都圏誘客事業費	事業開始年度 H22	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等 新ほっと石川観光プラン	

作 組 織 観光振興課
成 職・氏名 専門員 村濱 美千代
者 電話番号 076 - 225 - 1542 内線 3925

1 目 的
北陸新幹線金沢開業により、本県と首都圏が2時間半で結ばれることは誘客拡大のチャンスである一方、日帰り客の増加が懸念されることから、宿泊しなければ体験できない夜の観光資源の掘り起こしを行うとともに、平成25年度からは掘り起こされた観光素材を首都圏等に情報発信を行い誘客の拡大を図る。

2 事業内容
(1)夜の観光素材の更なる掘り起こし
旅行商品化の可能性の高い企画のさらなる掘り起こしを図るため、旅行会社等から企画を募集。

(2)首都圏旅行会社向け素材集作成
①現地調査
これまでに掘り起こされた素材を専門家があらためて旅行会社の目線で調査する。
②素材のデータベース化
①で調査した素材を地区、季節などごとに分類整理する。
③商品企画
②の中から20コース程度を厳選し、首都圏の旅行会社が必要とする情報(料金、マージン、所要時間、交通、運営方法、予約方法、保険等)も加えた上でパッケージ化する。
④首都圏発旅行商品化
首都圏旅行会社に対し旅行商品の造成を働きかける。

(3)受入体制の整備
夜の観光素材について地元ホテル、旅館、観光情報センター、交通事業者等との情報共有や旅行商品のパンフレットを配置することにより、観光客のニーズに答えられよう受入体制の整備を図る。

3 将来の展開(H26～)
(1)首都圏発の旅行商品造成
作成した素材集をもとに商品化を行った首都圏旅行会社に対して広告費等を助成することにより、確実な商品化につなげるとともに、改善すべき点を洗い出す。
(2)首都圏旅行会社への情報提供及び意見聴取
旅行会社及び観光客からの意見を反映させることにより素材集の更なる磨き上げを図る。

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価 B
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化					
指標	観光地の入り込み客数					単位 千人
目標値	現状値					
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	54,886	39,823	41,033	40,003	39,415	39,564
事業費						
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算		2,000	1,500	4,000	4,000
	決算		2,000	1,500	4,000	4,000
一般財源	予算		2,000	1,500	4,000	4,000
	決算		2,000	1,500	4,000	4,000
事業費累計			2,000	3,500	7,500	11,500
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性	B	夜の観光資源を組み込んだ旅行会社向け観光素材集の作成及び旅行商品造成の働きかけにより、観光入り込み客数及び宿泊客数について、前年度並みの水準を維持するなど、一定の成果があったと考えている。 延べ宿泊者数(石川県) ※統計から見た石川県の観光(宿泊者数) H24年 6,852千人 H25年 7,393千人				
	縮小	夜の観光資源を組み込んだ観光素材集により宿泊客の増に一定の効果があると考えられるため、今後は素材集のさらなる磨きあげを図り誘客につなげる。 夜の観光素材の掘り起こし及び受入体制がほぼ整備されたことから、今後は情報発信を中心に事業を実施していく。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわスイーツ博開催事業費	事業開始年度	H24	事業終了予定年度	H27	作 組 織	観光振興課	
		根拠法令 ・計画等	STEP21			成 職・氏名	主任主事 伊藤 江梨	
							者 電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3925

【事業の背景・目的】

北陸新幹線開業に向け、本県の魅力である食をテーマにしたイベントを継続的に実施することで、交流拡大の機運を盛り上げる必要があることから、女性等に人気の高いスイーツをテーマにしたイベントを開催し、菓子（スイーツ）どころ石川をアピールすることで、本県への観光客増大を図るとともに、県内菓子業界の発展を目指す。

【事業の概要】

- 1 主催 (公社)石川県観光連盟、石川県
- 2 協力 地元洋菓子、和菓子関係団体
- 3 内容 いしかわスイーツ博2013の開催
 - (1)第2回いしかわスイーツコンテスト
 - ①応募資格 全国の製菓学校に所属する学生
 - ②表 彰 いしかわスイーツ知事大賞1チーム、準大賞1チーム、部門賞3チーム
 - ③スケジュール 2月:プロモーション開始
4月:募集開始
8月:一次審査(書類審査)
10月:決勝実技審査
 - (2)いしかわスイーツフェア2013等の開催
 - ①実施時期 平成25年10月26日(土)～10月27日(日)
 - ②内 容 <いしかわスイーツフェア2013(しいのき迎賓館)>
県内の和洋菓子店に加え、県外有名店が菓子処いしかわに集結<スイーツコンテスト最終審査(金沢製菓調理専門学校)>
一次審査を通過した5チームによる最終実技審査を実施<協賛イベントほか>
市内ホテル、和洋菓子店でのオリジナルスイーツ販売
観光地等でのスイーツ茶会
- 4 事業費 24,500千円(県負担金15,000千円、市町等9,500千円)
- 5 交付先 (公社)石川県観光連盟

施策・課題の状況

施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	評価	B			
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化					
指標	観光地の入り込み客数	単位	千人			
目標値	現状値					
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	54,886	39,823	41,033	40,003	39,415	39,564

事業費

(単位:千円)		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算				15,000	15,000
	決算				15,000	15,000
一般財源	予算				15,000	15,000
	決算				15,000	15,000
事業費累計			0	0	15,000	30,000

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性	B	石川の魅力のひとつであり、財産でもある「菓子」を切り口としてコンテストの及びフェアの2つのイベントを同時開催することにより、本県ならではのイベントとして、北陸新幹線金沢開業に向けた本県PRに一定の効果があつた。
今後の方向性	継続	北陸新幹線金沢開業に向け、内容を見直しながら充実させていくとともに、特に首都圏での認知度向上に努め、県外からの誘客を図ることのできるイベントへと育ててゆく。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	温泉地魅力アップ推進事業費	事業開始年度	H25	事業終了予定年度	H26	作組織	観光振興課
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			成職・氏名	専門員 岡田 みゆき
						者電話番号	076 - 225 - 1538 内線 3928

1 事業の目的

北陸新幹線金沢開業を見据え、開業効果を金沢のみならず、加賀、能登全域に波及させ、さらには、観光客にご満足いただくことでリピーター化を促すため、温泉地の魅力向上につながる温泉旅館の施設整備を促進する。

2 内容

市町と温泉地とが一体となって取り組む、街並み景観に調和した外観整備、伝統工芸を活用した施設改修、ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備といった温泉旅館の前向きで付加価値が向上する積極的な施設整備に対して支援を行う。

○補助対象事業例

(1) <まちづくり>

温泉地の街並み景観に調和した建物外観整備(周辺の温泉風情に調和した外壁整備等)

(2) <地域振興>

石川の文化の活用(伝統工芸や伝統文化を紹介するギャラリー設置等)

(3) <ユニバーサルデザイン>

すべての人が利用しやすい宿泊施設内改修(ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備)

○補助対象者 石川県観光連盟加盟の温泉観光協会等に所属する県内の温泉旅館

○補助対象経費 15,000千円以内

(県1/3、市町1/3、温泉旅館(実施主体)1/3)

○補助金額

5,000千円以内×10件程度

○事業実施期間 H25、H26年度

3 県負担金50,000千円

これまでの見直し状況

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化						
	指標	観光地の入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	54,886	39,823	41,033	40,003	39,415	39,564	
事業費							
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
事業費	予算					50,000	
	決算					41,023	
一般財源	予算						
	決算						
事業費累計						41,023	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性	B	障害者や外国人など、すべての人が利用しやすい整備を行ったことにより、これまでより幅広く受け入れることが可能となったことから、次年度からの観光地への入り込みが期待される。					
今後の方向性	継続	引き続き、温泉旅館の付加価値が向上する施設整備に対して支援を行っていく。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	観光案内サイン整備事業費	事業開始年度	H25	事業終了予定年度		作組織	観光振興課
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			成職・氏名	専門員 岡田 みゆき
						者電話番号	076 - 225 - 1538 内線 3928

1 背景

本県の観光案内サインは平成6年から平成16年に整備され、現在351箇所となっているが、北陸新幹線金沢開業を控え、本県では道路整備が進んでいるほか能登有料道路無料化など観光を取り巻く環境の大きな変化により県内外からの観光客の増加が見込まれる。

< 主な要因 >

- ・北陸新幹線金沢開業(平成27年春)
- ・能越自動車道七尾氷見道路全線開通(平成26年度中)
- ・能登有料道路の無料化
- ・南加賀道路や白山ICの開通などの道路整備

2 対応

北陸新幹線金沢開業を見据え、新たな道路整備への対応、無料化される県内有料道路沿線観光地への拡充、県内重要伝統的建造物群保存地区等の表示など、県内観光資源への一体的かつ連続的なサインを平成26年度末までに整備する。

3 事業内容

- 平成25年度 のと里山海道本線上の不足分の整備
 新たな道路の開通による不足分の整備
 重要伝統的建造物群保存地区の新規整備
- 平成26年度 のと里山海道で道路標識に加えて観光案内サインを整備
 新たな道路の開通による不足分の整備
 年間入込数が新たに概ね10万人を超える施設等への案内サインの整備

4 事業費 平成25年 91,500千円 (県91,500千円) N=31箇所
 平成26年 N=30箇所程度(標記修正等)

これまでの見直し状況

施策・課題の状況

施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	評価	B			
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化					
指標	観光地の入り込み客数	単位	千人			
目標値	現状値					
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	54,886	39,823	41,033	40,003	39,415	39,564

事業費

(単位:千円)		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算					100,000
	決算					91,500
一般財源	予算					25,000
	決算					22,000
事業費累計			0	0		100,000

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性	B	年間入込客数が概ね10万人以上等の施設への案内看板を適切に整備することにより、観光客のスムーズな移動に寄与できる。
今後の方向性	継続	新たに開通する道路への対応など、引き続き分かりやすい案内サインの整備を進めていく。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	戦略的コンベンション誘致推進事業費補助金	事業開始年度	S63	事業終了予定年度		
		根拠法令	新ほっと石川観光プラン			
		計画等				

作成者	組織	観光振興課				
	氏名	専門員 小林 満美子				
	電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3921				

事業の背景・目的
学会等の誘致を促進するために、(財)金沢コンベンションビューローが実施する各種PR活動を支援し、地域経済の活性化を図る。

- 事業の概要**
- 1 コンベンション都市推進事業
 - ・国際コンベンションの情報収集、キーパーソン招聘など、日本政府観光局マーケティング事業を活用
 - 2 コンベンション都市広報事業費
 - ・東京で開催される国際ミーティング・エキスポに参加するほか、より多くの開催決定者との商談を行う
 - 3 コンベンション活性化推進事業
 - (1) 着地型情報提供事業
 - ・コンベンション参加者にとって利便性が高く、持ち運びやすいサイズのガイド冊子として「コンベンションナビ2013」を作成し、街中の回遊性向上や消費拡大につなげる着地情報として配布・提供する。
 - (2) インターネット等情報端末発信事業
 - ・コンベンション主催者及び参加者に対し、注目度を高めるホームページを展開するほか、スマートフォンなど携帯端末からの情報収集を可能にする。
 - (3) 接遇スキルアップセミナー開催事業
 - ・当地でのコンベンション開催時に顧客満足をこれまで以上に高めるため、サプライヤーである賛助会員向けに多種多様な要望におもてなしの心で即応出来る人材を育成するセミナーを開催する。
 - (4) 加賀・能登ランチ活性化事業
 - ・加賀及び能登に各ランチを設置し、県下全域にコンベンション事業を浸透、普及させ、速やかに誘致・支援・受入を図るための活動をする。
 - 4 MICE推進事業
 - MICE誘致・展開事業
 - ・国際学会等の誘致を積極的に進めるため、中国と韓国をターゲットに商談会や展示会等の参加、ファミトリップ・インセンティブ招請受入事業を実施し、石川・金沢の魅力積極的にアピールしていく。

これまでの見直し状況
平成12年に加賀・能登ランチを小松・七尾商工会議所内に開設し、コンベンションの県下全域対応ができるよう、組織強化を図った。

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B
課題	イベント、コンベンションの振興					
指標	コンベンション開催・参加者数				単位	件・人
	目標値			現状値		
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	400	324	353	362	393	401
	96,800	74,715	75,575	73,999	93,112	88,834

事業費						
(単位:千円)		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	4,952	4,952	4,952	5,000	5,000
	決算	4,952	4,952	4,952	5,000	5,000
一般	予算	4,952	4,952	4,952	5,000	5,000
	決算	4,952	4,952	4,952	5,000	5,000
事業費累計		100,962	105,914	110,866	115,866	120,866

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性	A	(公財)金沢コンベンションビューローは、学会、大会などのコンベンション開催のため、海外及び国内のトレードショーへの参加・情報提供や国際会議等のキーパーソンの招聘など積極的な誘致活動を展開しており、コンベンションの開催数自体は伸びている。
	継続	石川県へのコンベンション誘致を進めるため、平成21年3月に「石川県コンベンション誘致推進計画」を策定した。平成27年の北陸新幹線の金沢開業を見据え、「コンベンション誘致推進計画」に基づき、企業等への直接訪問による計画的アプローチにより、年度間及び季節毎にバランスのとれたコンベンション誘致に引き続き取り組んでいく。
今後の方向性	継続	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名「金沢城・兼六園四季物語」開催事業費	事業開始年度:	H14	事業終了予定年度:	
	根拠法令・計画等	新ほっと石川観光プラン		
				作 組 織: 観光振興課
				成 職・氏名: 主事 高 慎太郎
				者 電話番号: 076 - 225 - 1542 内線 3926

事業の背景・目的

石川らしい観光地づくりを目指し、観光資源の多様な活用により、観光地の活性化を図るため、金沢城公園や兼六園などを舞台に新しい観光の魅力を演出するイベント等を四季を通じて開催し、観光石川の魅力を県内外にアピールすることで、本県のイメージアップと観光誘客の促進を図る。

事業の概要

- 金沢城・兼六園ライトアップ**・・・雰囲気異なる金沢城・兼六園の特徴を活かしたライトアップイベント
 - 【春の段】4月3～9日
 - 【夏の段】6月2～3日
 - 【秋の段】11月16～17日、23～24日
 - 【冬の段】1月31～2月9日、3月20～23日

負担金交付先: 石川の四季観光キャンペーン実行委員会(会長: 石川県観光戦略推進部長)
事業規模: 21,324千円 (県負担 10,662千円 金沢市負担 10,662千円)

これまでの見直し状況

平成11年度に、それぞれの事業毎に実行委員会を組織していたものを一本化し、「石川の四季観光キャンペーン実行委員会」として、年間を通じて事業を実施している。

施策・課題の状況

施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B	
課題	イベント、コンベンションの振興							
	指標	コンベンション開催・参加数				単位	件・人	
	目標値	現状値						
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	400	324	353	362	393	401		
	96,800	74,715	75,575	73,999	93,112	88,834		

事業費

(単位: 千円)		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算	10,240	10,240	10,427	9,082	8,729
	決算	10,240	10,240	10,427	9,082	10,662
一般	予算	10,240	10,240	10,427	9,082	8,729
	決算	10,240	10,240	10,427	9,082	10,662
事業費累計		63,040	73,280	83,707	92,789	101,518

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性	A	石川県ならではの個性あるイベントとして県外観光客にも人気が高く、大手旅行会社は商品化するなど、多くの観光客に楽しんでもらっており効果が高い。 参加人数 H24:70,461人 H25:93,760人
今後の方向性	継続	北陸新幹線開業を見据え、宿泊しなければ体験できない夜の観光資源という点で重要であり、引き続きその魅力をさらに高めるために、開催内容の充実に取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ウェルカムいしかわ推進事業費	事業開始年度	H22	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	STEP21		

作組織	観光振興課				
成職・氏名	主任主事 正木 康子				
者電話番号	076	-	225	-	1538 内線 3929

<p>1 目的 北陸新幹線の金沢開業を見据え、「おもてなし」の心を持って観光客を迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、県民総ぐるみで「おもてなし」向上に向けた取り組みを実施する。</p> <p>2 事業内容 (1)「ほっと石川おもてなし推進協議会」の開催 (300千円) 各業界での課題や取組状況などの意見交換、全県的なおもてなし向上に向けた取組の推進等</p> <p>(2)「おもてなし推進大会」の開催 (2,000千円) 各地域の特色あるおもてなしの取組の事例発表や著名人によるおもてなしの講演等 ※開催地: 白山市</p> <p>(3)「観光おもてなし塾」の開催 (1,500千円) 観光事業者(宿泊施設・飲食店従業員、交通事業者、ボランティアガイド等)のスキルアップを図る研修会を実施</p> <p>(4)「(拡)おもてなし講座」の開催 (1,500千円) 県民がおもてなしについて考えるきっかけづくりとして、地域の集会や行事等に無料で講師を派遣し、講座を実施</p> <p>(5)「(新)おもてなし体験談」の活用 (1,000千円) おもてなしから生まれた心あたたまる出会いや感動のエピソードなど県民から寄せられた体験談の中から、見本となる事例を県民に広く周知</p> <p>3 県負担金 6,300千円</p>
--

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	人材の育成						
指標	ボランティアガイド団体・参加者数				単位	団体・人	
目標値	現状値						
平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
30団体:800人	26団体:1040人	25団体:836人	25団体:836人	27団体:882人	23団体:991人	(5団体H25に合併)	
事業費							
(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
事業費	予算	5,000	4,100	8,300	6,300		
	決算	5,000	4,100	8,300	4,300		
一般財源	予算	5,000	4,100	8,300	6,300		
	決算	5,000	4,100	8,300	4,300		
事業費累計	5,000	9,100	17,400	23,700			
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性	B	交通事業者、宿泊事業者などの観光関係事業者をはじめ、地域住民など、地域で「おもてなし」向上に向けた取り組みを実施し、「おもてなし」意識の醸成を図った。各地域や団体による自発的な取り組みも広がってくるなど「おもてなし」実践に向け、一定の効果が得られた。					
今後の方向性	継続	北陸新幹線金沢開業を目前に控え、最後の総仕上げとしておもてなしの実践を後押しするため、県内各地域・各団体の活動についての決意表明である「おもてなし宣言」を募集するなど、継続しておもてなしについての取り組みを行う。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名: ほっと石川観光キャンペーン事業費	事業開始年度: H6	事業終了予定年度:	作成者: 組織: 観光振興課 職・氏名: 主事 中島 光裕 電話番号: 076 - 225 - 1539 内線 3922
	根拠法令・計画等	新ほっと石川観光プラン	

事業の背景・目的
 北陸新幹線金沢開業を見据え、アクションプラン「STEP21」の重点プロジェクトや交通インフラの積極的活用、温泉旅館等の活性化支援を推進するとともに、多様化する旅行者のニーズに対応した情報発信や、テーマを絞った情報発信、特定機関を対象とした誘客促進などを行うことにより、「新ほっと石川観光プラン」に掲げた三大都市圏誘客1000万人構想の実現を目指す。

- 事業の概要**
1. 情報発信事業
 - 1-1 認知度の向上
 - (1) マスメディアを活用した情報発信
雑誌、新聞等各種メディアとタイアップした事業を実施
 - (2) 地域を限定しない効果的な情報発信
OEK情報発信、など

2. 受地取組事業
 - 観光地の魅力創出
 - (1) JRタイアップキャンペーンによる期間限定イベントの実施
 - (2) 着地型旅行の推進
百万石風情の旅

交付先: 公益社団法人石川県観光連盟

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B
課題	効果的な情報発信					
指標	観光地の入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	54,886	39,823	41,033	40,003	39,415	39,564

事業費						
(単位: 千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
事業費	予算	98,948	74,150	55,850	47,980	53,390
	決算	98,948	74,150	55,850	47,980	53,390
一般財源	予算	98,948	74,150	55,850	47,980	53,390
	決算	98,948	74,150	55,850	47,980	53,390
事業費累計	286,175	360,325	416,175	464,155	517,545	

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性	B	情報発信を中心とした様々な観光キャンペーンを実施することで、出雲大社や伊勢神宮の遷宮等により関西・中国方面への観光が増加する中、本県観光地への入込客数を増加させることができた。 (H24→H25: 100.4%)
今後の方向性	継続	新ほっと石川観光プランに掲げる「3大都市圏誘客1,000万人構想」達成のため、引き続き三大都市圏からの誘客促進に取り組んでいく。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 旬のいしかわネット配信事業	事業開始年度: H24	事業終了予定年度:	作 組 織: 観光振興課
	根拠法令		成 職・氏名: 主事 釣谷 俊介
	・計画等		者 電話番号: 076 - 225 - 1539 内線 3921

1 目 的
 ・インターネットを活用した宿泊予約が増加している状況を踏まえ、個人客をターゲットとした効果的な発信により誘客促進を図る
 ・物見遊山の旅行から趣味・趣向を求める旅行へ旅行目的が変化していることを踏まえ、ターゲットが求める情報(趣味・趣向、家族旅行等)を必要な時期(タイミング)に発信する

2 事業内容
 (1) 大手旅行予約サイトを活用した効果的な情報発信
 →趣味・趣向を求める旅行者が増加していることを踏まえ、石川ならではの特色をテーマとしたPRを季節毎に展開(年4回実施)
 1加賀四湯博『姫旅』×『恋旅』(加賀)
 2秋の加賀温泉郷(加賀)
 3冬の能登ふるさと博(能登)
 4卒業旅行(能登・金沢)

(2) 大手福利厚生代行会社とタイアップした企業会員への誘客プロモーションの展開
 →誘客効果の高い夏休み前に、大手福利厚生代行会社(H24:1社→H25:2社)とタイアップしたプロモーションを展開することにより、より多くの企業会員へダイレクトな情報発信を図り、宿泊予約の増加を目指す
 ① 会報向けの会報誌による情報発信
 ② 会員向けの専用ホームページへの本県特集ページの掲載
 ③ 会員向けのメールマガジンによる情報発信

※福利厚生代行会社…宿泊・レジャー等の余暇支援サービスなどを、民間企業や公官庁から一括契約(代行)し、契約企業の社員に割安な会員価格で提供する企業

3 事業費
 (県負担:6,000千円、市町:6,000千円)

4 交付先
 公益社団法人石川県観光連盟

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	効果的な情報発信						
	指標	観光地の入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	54,886	39,823	41,033	40,003	39,415	39,564	
事業費							
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
事業費	予算				6,000	6,000	
	決算				6,000	6,000	
一般財源	予算				6,000	6,000	
	決算				6,000	6,000	
事業費累計				0	6,000	12,000	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性	A	福利厚生代行会社と連携した企業会員への誘客プロモーションについては、2社あわせて県内予約人泊数が前年同時期比2,252人泊増となった。また、大手旅行予約サイトを活用した情報発信については、年4回の特集を実施し、同サイトからの県内予約人泊数が前年同時期比11,264人泊増となり、取り組みの成果が大きかったことが伺える。					
今後の方向性	見直し	25年度から2社と連携し実施していた福利厚生代行会社との誘客プロモーションについては、より効果の高かった1社との連携に絞るとともに、展開期間を拡大し、より効果的なプロモーションを進める。また、大手旅行予約サイトを活用した情報発信については、インターネットを通じた旅行予約者が多い現状を踏まえ、引き続き石川の特色や季節毎の旅行者ニーズに合った情報発信を進める。					